



# 人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture



子どもたちに寄り添い、  
成長を支える学校教員や、文化を通じて、  
地域の人々を支える人を養成します。

学類紹介MOVIEを  
チェック!



■ 教育実践コース

■ 人文科学コース

■ 心理学・幼児教育コース

■ 数理自然科学コース

■ 特別支援・生活科学コース

■ スポーツ健康科学コース

■ 芸術・表現コース

## こんな人に学んでほしい

- 保育士、幼稚園や小学校・中学校・高校・特別支援学校の先生になりたい人
- わかりやすく教えられる先生になりたい人
- 人間の心理や行動の不思議について学びたい人
- 現代生活に関わる衣食住や生活経営について学びたい人
- 音楽や美術について学びたい人
- 日本・アジア・欧米の言語や文学について学びたい人
- 地域や世界の地理・歴史・経済・社会・思想について学びたい人
- 数理科学や自然科学について学びたい人
- スポーツ科学や健康科学について学びたい人

## SHINING GRADUATES



社会で  
活躍する  
卒業生

Interview

いわき市立平第五小学校 佐久間 勇気さん  
人間発達文化学類 人間発達専攻 教育探究クラス 2021年卒業  
※勤務先は取材当時のものです。

## 子どもの目線に立って 考えることのできる先生に

入学当初は高校の日本史の先生を志望していました。大学に入ってから小学生と関わる機会が多く、学びの一番最初である小学生に関わる楽しさを感じて小学校の先生になりました。大学1年生の時に、小中学生が参加する自然体験のキャンプをベースから企画する自然体験実習は、大きな転機となりました。この経験をきっかけとして、県内各地の学校を見学したり、学習支援のボランティアなどで様々な子どもたちと関わったりできたことは、福大に入ってから一番の収穫でした。また、仲間と立ち上げた学習支援のサークルでは、年齢や興味関心の違う子どもたちどう関われば一緒に成長していけるのかや子どもたちの関係づくりを学ぶことができました。そのことは今の教室での関係づくりにも活かしていると思います。ゼミでお世話になった坂本先生とは



随分一緒に飲みましたし、今も相談に乗っていただいています。  
今でも深く心に刻んでいる言葉は、教育実習の時に指導教員の先生がおっしゃった「子どもの目線に立ちなさい」という言葉です。今年で3年目、今後も目の前にいる子どもたちが何を考えどう感じているのかを考えながら、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

## 卒業後の 主な進路

- 保育士
- 幼稚園教員
- 小・中・高校教員
- 特別支援学校（盲学校・聾学校・養護学校）教員
- 社会教育主事
- 児童館専門員
- 学童保育指導員
- 塾講師
- 国家公務員
- 地方公務員
- 専門コンサルタント
- 医療・福祉関連
- 一般企業
- 英会話講師
- NGO職員
- 銀行員
- SE、マスコミ・出版業
- 旅行・サービス業
- 不動産業
- 商社・企業（国際交流・海外事業担当）
- 社会人教育サービス
- 大学院進学 など
- 音楽教室講師
- 音楽サークル指導者
- イベント企画者
- 劇伴・コマーシャル音楽制作者
- 印刷・広告業
- イラストレーター
- インテリア用品デザイナー
- スポーツ選手
- スポーツ指導者
- フィットネスクラブ
- マスコミ・出版業（スポーツ分野）
- スポーツマネジメント業
- 健康増進産業 など

カリキュラムの特長

コース専門プログラム制による確かな学力と実践的な応用力の形成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しています。学類生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次からいずれかのコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学んでいきます。それにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができます。公認心理師および保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成しています。

学士号と  
取得できる  
教員免許・資格

- 学士(発達文化)
- 幼稚園教諭一種免許状
- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状 ※1  
(国語/社会/数学/音楽/美術/保健体育/英語/理科 ※2)
- 高等学校教諭一種免許状 ※1  
(国語/地理歴史/公民/数学/音楽/美術/保健体育/英語/理科 ※2)

- 特別支援学校教諭一種免許状 ※3
- 社会教育主事(基礎資格) ※4・社会教育士
- 保育士 ※5
- (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 ※6
- 社会福祉主事(任用資格) ※7
- 公認心理師 ※8

※1 家庭科については令和7年度以降の入学は取得できません。  
 ※2 理科については他学類で開講されている授業の単位を取得する必要があります。 ※3 特別支援学校教諭の免許状は単独では取得できず、小学校、中学校、高等学校及び幼稚園教諭免許状のいずれかを併せて取得しなければなりません。  
 ※4 必要単位を修得し、卒業後1年以上の社会教育主事補あるいは5年以上の学校教員などの教育関係職に従事することが必要です。  
 ※5 15名の定員があります。心理学・幼児教育コースに所属する学生のみ取得可能です。他のコースに所属する学生は取得できません。同時に取得可能な免許は幼稚園と小学校の教員免許のみです。  
 ※6 指定する科目を修得することにより「スポーツリーダー」資格を取得できます。また各種スポーツ指導者資格の取得に必要な講習の免除資格が、指定された科目を修得することにより取得できます。この制度は、スポーツ健康科学コースに所属する学生が対象となります。  
 ※7 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。  
 ※8 国家資格「公認心理師」の受験資格取得に必要な科目を開講します。公認心理師の受験資格取得に必要な学類の科目を全て履修するためには、心理学・幼児教育コースに所属する必要があります。また保育士資格や教員免許を同時取得することはできません。実習先の受け入れ可能数を超える場合には選考することがあります。最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。なお、編入学・学士入学で入学された方は、公認心理師の資格取得はできません。

	1年次		2年次		3年次		4年次	
学びの目標	発達・文化のリテラシー(基礎・基本)を学ぶ 学びのプログラムを選択する		発達・文化の専門的な知識・技術を学ぶ 問題解決型学習の基礎を学ぶ		自ら課題を立て、専門的知識・技術を活用して課題を 解決するなかで、専門的知識・技術の実践力を身につける		専門的知識・技術をさらに深めるとともに、 学びの集大成である卒業研究を完成させる	
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester
専門教育	小・中・高教員は 全コースで養成		学類・教養科目		コース専門科目以外の学類科目を履修することで、発達・文化に関する学びの幅を広げる		卒業研究科目 ■ 卒業研究基礎演習 ■ 卒業研究演習 ■ プレゼンテーション演習 ■ 卒業論文	
	教育実践コース		・日本教育史 ・教育課程論	・社会科学習指導論 ・子どもと特別活動	・教育と社会 ・教科教育法I・II	・国語科教育法IV ・生活科学習指導論	・生涯学習社会と学校・家庭・地域 ・外国の教育	
	心理学・幼児教育コース		・知覚・認知心理学 ・幼児発達心理学	・発達心理学 ・保育内容(人間関係)	・心理学的支援法 ・保育内容(表現I・II)	・障害者・障害児心理学 ・保育カリキュラム論	・公認心理師の職責 ・総合表現(劇)	
	特別支援・生活科学コース		・知的障害者教育課程論 ・知的障害者の行動観察とアセスメント	・重複障害・軽度発達障害教育総論 ・食物学	・生活経営学 ・知的障害者学級経営論	・知的障害者の心理・生理・病理 ・人間と衣服	・住生活学 ・食品加工学概論及び実習	
	芸術・表現コース		・器楽演奏研究 ・彫刻	・指揮法研究 ・絵画	・音楽史 ・映像メディア論	・声楽アンサンブル ・美術史	・ピアノアンサンブル ・芸術学	・音楽科教育法 ・美術科教育法
	人文科学コース		・日本古典文学演習 ・日本語の変異	・自然災害と人間 ・日本史史料講読	・英語学概論 ・初期近代英米文学	・英語学演習 ・英米文学演習	・現代日本経済論 ・ヨーロッパ古代・中世史	・書道
	数理自然科学コース		・代数学II ・幾何学II	・確率論・統計学 ・理科学習指導論	・理科の実験指導 ・代数学統論	・幾何学統論 ・物質化学	・生命環境の科学 ・地球惑星の科学	
スポーツ健康科学コース		・スポーツ運動学 ・スポーツと文化	・体カトレーニング ・スポーツ政策論	・運動処方 ・健康科学演習	・野外活動 ・生理学	・コーチング論 ・スポーツ医学		
接続領域	・スタートアップ科目 ・ライフマネジメント科目		外国語コミュニケーション科目				アドバイザー教員 学修や進路など大学生活全般のアドバイスをを行います。 下記の担当教員をアドバイザーとする小集団教育を行います。	
基盤教育	学術基礎科目		健康・運動科目	情報科目			1年次前期 スタートアップセミナー教員	
	外国語科目						1年次後期~3年次前期 問題探究セミナー教員	
問題探究領域			キャリアモデル学習	教職入門			3年次後期~4年次 卒業研究指導教員	
	問題探究科目		自主学修プログラム					
自由選択	自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学類内外の科目から選んで履修する							





主体的で実践的な学びを通して、  
「成長を支えられる人」を目指します

「人の成長を支える専門家を育てる」ことを目標に、人間の発達を支援する教育や文化に関する基礎的・専門的知識、技術を学びます。それらを基盤に、社会における現代的、地域的課題解決に、実践的に取り組むことのできる人を養成します。学類生は、1年次から7つのコースに所属し、学類基礎、学類専門、学際・教養、卒業研究のカリキュラムを通じて学んでいきます。また、より深い学びと経験ができるコース専門プログラムを設置しています。

学類長  
メッセージ

Message

人間の発達と文化に関する学びを  
追究し、自分を高めよう

人間発達文化学類という名前から皆さんは何をイメージしますか。たしかに少しわかりにくいかもしれませんが、ここでいう人間の「発達」とは、誕生から死までの生涯にわたる成長の過程を指します。また「文化」とは、人間が生み出してきた知識・信仰・芸術・法や生活習慣の総体であり、社会の基盤をなすものです。つまり、本学類は、社会との関わりから人間の成長を支える条件を追究すること、そして人間がよりよく生きること支援する人材を育てることを目的としているのです。

この目的を達成するためには、幅広い分野の学びが欠かせません。本学類には、人文・社会・自然の諸分野を網羅した多様なコースが用意されています。皆さんは自分の関心や進路にあわせてコースを選択し、そこからさらに専門に特化したカリキュラムを自分で選ぶことができます。

人間発達文化学類でしかできない学修と実践を、そして自己を高める挑戦を——そう願っています。



人間発達文化学類長 牧田 実 教授

実習  
PICK UP!

1年前期

自然体験実習



☑ 伝える力、聴く力、そして企画力が身につく。

小中学生が参加する「自然体験学校」を企画運営します。8月の本番に向けて、仲間とともに企画を考え、話し合い、準備する中で、考えを伝える力や聴く力、企画力が身につく、子どもとの関わりのイメージがつかめるとともに、多くの仲間を得られます。

2年前期～

学校教育支援実習

☑ 教員としての資質能力を高める。

学校現場で教員の実務の補助にあたり、実践的指導力を養い、学校理解を深めます。2年次では3年次の教育実習への準備、3・4年次では教育実習で身につけた知識や技能を活かし、教員としての資質能力を高めます。教職登録をした2年生以上が対象です。



3年前期～

教育実習

☑ 培った理論を実践力につなげる。

理論を知っているだけでは教師は務まりません。理論を実践力として働かせる必要があります。実際の教育現場での「教育実習(4週間)」を通じて、理論を実践力につなげていきます。教員免許取得のための必修科目です。



教員紹介 ※2025年4月1日現在

教育実践コース

- 植田 啓嗣 (教育学・比較教育学)
- 太田 孝 (国語科教育学)
- 神山 真由 (教育行政学・教育制度論)
- 菅家 礼子 (質の高い身体教育の探究)
- 坂本 篤史 (授業研究、教師論)
- 志賀 匡行 (学習指導、理科教育)
- 高橋 英子 (社会教育学・教育社会学)
- 谷 雅泰 (日本教育史、近代学校の起源)
- 中野 真悟 (道徳教育、生徒指導)
- 嶋川 哲也 (学校経営、理科教育)
- 森本 明 (算数・数学の授業とカリキュラムの構成に関する研究)

心理学・幼児教育コース

- 市川 英雄 (福祉領域における心理支援)
- 伊藤 雅隆 (認知行動療法の効果と実践方法)
- 生島 浩 (少年非行・犯罪に関わる家族への援助実践)
- 鈴木 清 (児童福祉領域における心理支援)
- 住吉 チカ (認知心理学、認知機能障害、及び認知機能の発達)
- 高谷 理恵子 (発達に影響を及ぼす諸要因の検討)
- 原野 明子 (幼児の仲間関係の発達)
- 保木 啓史 (集まり場面での子どもと保育者の相互作用、保育者の専門性)
- 村木 洋子 (ピアノ演奏と幼児への音楽基礎教育)

特別支援・生活科学コース

- 角間 陽子 (家庭科教育の研究、生活経営学)
- 小椋山 宗浩 (特別支援教育における教育環境の整備)
- 佐藤 玲子 (快適な住生活と住環境について)
- 高橋 純一 (能力の多様性と障害理解、障害児・者の見え方と感じ方)
- 千葉 桂子 (快適で安全な衣服のデザインと機能)
- 中村 恵子 (調理のコツとおいしさについて)
- 柳 昭 哲 (特別な教育的ニーズに応える支援)
- 和田 恵 (障害児の社会的認知について)

芸術・表現コース

- 新井 浩 (彫刻制作、彫刻教材の研究)
- 今尾 滋 (声楽・オペラ)
- 加藤 奈保子 (西洋美術史・美学)
- 杉田 政夫 (音楽科教育の理論的・実践的研究)
- 中畑 淳 (音楽、ピアノ/演奏法、作品解釈研究)
- 横島 浩 (作曲、楽曲分析研究)
- 渡邊 晃一 (絵画、現代美術、制作学)
- 渡部 憲生 (図画工作科・美術科教育)

人文科学コース

- 朝賀 俊彦 (言語の仕組みについての研究)
- 井実 充史 (日本古典文学、古典教育)
- 小野原 雅夫 (戦争と平和の倫理学、科学技術と環境の倫理学)
- 鍵和 田 賢 (ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会学)
- 川田 潤 (主に英語圏の文化の研究)
- 小松 賢司 (日本近世史)
- 佐久間 康之 (外国語活動・英語教育と心のメカニズム)
- 佐藤 佐敏 (国語科教育学、学習指導論)
- 佐藤 元樹 (理論言語学、統語論、意味論)
- 滝澤 尚 (漢文学、漢字文化、古代文学・思想・神話、本草学)
- 高木 修一 (英語リーディングのメカニズムを探る/英語テストを科学する)
- 高田 英和 (イギリス文学、文化研究)
- 高橋 由貴 (日本近代文学・比較文学)
- 中村 洋介 (自然災害科学・防災教育)
- 野木 勝弘 (社会科教育学)
- 初澤 敏生 (地域文化構造の調査と分析)
- 半沢 康 (日本の方言の研究)
- 牧田 実 (コミュニティとまちづくり)
- 渡邊 健順 (社会科教育学)

数理自然科学コース

- 柴田 崇広 (代数幾何学)
- 鈴木 昭夫 (理科教育)
- 中田 文憲 (微分幾何学、STEAM教育)
- 平中 宏典 (ICTを活用した理科教育、地域地質を活かした地学教育)
- 水澤 玲子 (島嶼生態学、植物の繁殖生態学)
- 村上 正樹 (小学校理科教育)
- 和田 正樹 (解析学、確率論)

スポーツ健康科学コース

- 小川 宏 (体育・スポーツの意義と目的)
- 杉浦 弘一 (スポーツと健康の医科学)
- 竹田 隆一 (武道の独自性と国際化)
- 蓮沼 哲哉 (スポーツ社会学)
- 松本 健太 (体育科教育学・スポーツ教育学)
- 本嶋 良恵 (スポーツバイオメカニクス)
- 安田 俊広 (骨格筋の疲労と損傷のメカニズム)

学類附属 学校臨床支援センター  
学校連携部門

- 教育相談部門
- 青木 真理 (臨床倫理学、教育臨床学)
  - 岸 竜馬 (精神分析的な心理療法・精神病理)
- 現職研修部門
- 宗形 潤子 (生活科における実践的研究)
  - 高野 孝男 (特別活動と学級経営の研究)



# 専門知識・技術と実践的な応用力を身につける7つのコース



## 教育実践 コース



学校現場で活躍する実践力のある学校教員を育成する

教育実践コースは、学校教員になることを目指す学生が中心になるコースです。学校現場は社会・地域の変化など複雑な環境に晒されています。その中で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける教員が求められています。本コースでは学校教員として求められる実践力をつけることを目指します。

- 主な科目
- カリキュラム・教育方法論
  - 音楽科学習指導論
  - 生涯学習社会と学校・家庭・地域
  - 理科学習指導論
  - 学校と教育の歴史
  - 体育科学習指導論
  - 子どもと道徳
  - 子どもの生活と遊び
  - 教育の方法・課程論A
  - 子どもと自然
  - 国語科教育法
  - 外国の教育
  - 数学科教育法
  - 教育行政学

### 特徴的な学び

#### 教育の方法・課程論A

これからの学校教育に向け、何をどのように教えるかについて広くかつ深く学びます。授業では、今まで受けてきた学校教育を教師側の視点に立って振り返りつつ、具体的な事例や文献資料を基にした学生同士の意見交流や話し合いを通して、自身の授業観を磨いていきます。

### 特徴的な学び

#### 算数科学習指導論

算数科の学習指導に必要な基礎的・基本的な資質・能力を身につけます。小学校算数科の目的・目標、育成すべき資質・能力、学習指導の内容及び学習指導の方法について理解するとともに、指導案作成や模擬授業を通して、算数科授業を構成・実践できるようにします。



## 心理学・幼児教育 コース



人の行動・心理の研究と幼児期の教育を研究する

本コースは、人の行動・心理についての知見を得るとともに、実験・調査・観察などの科学的手法によって研究を行う心理学の分野と、乳幼児の発達を学びつつ、幼児期に相応しい経験とは何かを探る幼児教育分野で成り立っています。なお、1年後期から心理と幼児教育のクラスにわかれます。小学校教員や心理専門職(公認心理師・公務員心理職)、幼稚園教諭や保育士を目指す人に向いています。

- 主な科目
- 発達心理学
  - 公認心理師の職責
  - 産業・組織心理学
  - 心理学演習・実習
  - 心理学的支援法
  - 心理学統計法
  - 社会・集団・家族心理学
  - 保育原理
  - 幼児発達心理学
  - 保育カリキュラム論
  - 保育内容(表現I)
  - 幼児と音楽
  - 保育方法実践論
  - 総合表現(劇)

### 特徴的な学び

#### 心理学に関する学び

実験、観察、調査など各研究手法、及びデータを分析するための統計手法を学びます。これらの知識を活かして、人の行動や発達、集団行動などについて研究を進めていきます。さらに、公認心理師を目指す人は実習を通して、臨床的な技能も学んでいきます。

### 特徴的な学び

#### 幼児教育に関する学び

幼児教育分野では、保育・幼児教育についてのこれまでの歴史や思想、制度等の幼児教育、子どもの発達等に関する理論を学びます。これらの知識を活かして、保育現場で必要となる技術・技能を身につけ、実習や卒業研究等を通して、さらに研鑽を積んでいきます。



## 特別支援・生活科学 コース



障害のある子どもの教育や家庭・地域に関わる生活科学を学ぶ

知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもの発達支援に関する理論や、家庭や地域に関わる生活科学の基礎について広く学び、実践を通して理解し身につけ、探究していきます。子どもたちの発達を支援し特別支援学校教諭を目指す人や、生活の基礎を学びたい人、家庭科に強い小学校教員を目指す人に向いています。(令和7年度入学生から中高家庭科教員免許は取得できません。)

- 主な科目
- 特別支援教育概論
  - 知的障害者の行動分析
  - 病弱者の生理・病理・心理
  - 知的障害者教育指導法
  - 知的障害者教育課程論
  - 食と健康
  - 食生活論
  - 衣服のデザインと機能
  - 住生活学
  - 生活経営学

### 特徴的な学び

#### 特別支援教育概論

大学での学びを始めた、主に1年生を受講対象として「障害」に関する基礎的なことを広く学びます。障害特性や支援方法だけでなく、障害者政策や障害者差別など広い分野から「障害」に対してアプローチします。

### 特徴的な学び

#### 生活経営学

「生活資源」の視点から、生涯にわたって生活の質を追求していくための知識とスキルを学びます。生活資源を活用して個人や地域・社会の生活ニーズや生活困難の解決を図るなど、生活経営力を高めるさまざまなアクティビティを取り入れながら、受講生が主体的・協働的に学びを深める実践的な授業を行います。



## 芸術・表現 コース



芸術の意義を理解し、芸術関連の教員やコーディネーターとして活躍する

芸術や表現の意義、本質を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的・実践的に身につけるための、芸術の薫り高いコースです。芸術表現者の育成とともに、芸術領域(音楽・美術)を活用できる学校教員(小・中・高)、さらにはアートコーディネーターといった芸術の力を地域で活かせる人材を育成します。

- 主な科目
- 子どもの音楽表現
  - 作曲基礎
  - 声楽演奏研究
  - ピアノ演奏研究
  - 音楽科教育法
  - 器楽演奏研究
  - 指揮法研究
  - 子どもの造形活動
  - 絵画
  - 彫刻
  - 工芸デザイン
  - 美術史
  - 芸術学
  - 映像メディア論

### 特徴的な学び

#### 素描

この授業ではさまざまな美術、造形表現の基礎となる見方、考え方を学びます。現代のメディアから発信される現代的イメージを押さえながら、優れた表現者、教育者に必要な知識、技能とともに、興味を持って対象に迫る探究心を養います。

### 特徴的な学び

#### ピアノアンサンブル

この授業では、基本的な演奏技術を修得しながら、作品解釈を通じて伴奏法、共演形態の演奏法について学びます。1台4手(連弾)、2台4手(2台ピアノ)をはじめ、ピアノを含む共演形態の作品を幅広くとりあげ、各パートの理解を深めつつアンサンブルによる演奏表現を仕上げていきます。

# 専門知識・技術と実践的な応用力を身につける7つのコース



## 人文科学 コース



様々な文化を学び  
地域の文化の継承・発展に貢献する

言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について深く学ぶことができます。そのような学びを踏まえて、地域の文化を継承し、発展させていく力を養います。人文学諸分野の知識を活用した仕事に就きたい人、国語・英語・社会に強い小学校教員や、中学・高校の国語・英語・社会の教員を目指す人に向いています。

- 主な科目
- 漢字・漢文学概論
  - 日本文学特講
  - 英語学概論
  - 英米文学史
  - 日本近世社会史
  - 都市とまちづくりの地理学
  - 現代社会と文化
  - 国語科・英語科・社会科教育法

### 特徴的な学び

#### 言語文化や国語教育に関する学び

日本語学、日本文学(古典・近代)、漢文学、国語科教育学といった言語文化・言語教育(国語教育)について、文献を収集したり、実地調査をしたり、模擬授業をしたりして、その専門性を学びます。

### 特徴的な学び

#### 外国語の言語文化や教育に関する学び

英語学、英語教育学、英米文学・文化、異文化理解、英語コミュニケーション等について、文献調査やグループワークなどを通じて、その専門性を学びます。

### 特徴的な学び 歴史や地理や公民に関する学び

古文書や外国語文献から直接歴史を学んだり、現地で実際に調査することによって地理や経済や社会を学んだり、グループワークを通じて倫理について考えを深めたりしていきます。



## 数理自然科学 コース



自然や数学の問題を探究し  
諸問題を解決する専門性を高める

身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを重ねていくことで専門性を高めていきます。社会において数学や自然科学に深く関わっていききたい人、算数や理科に強い小学校教員、中学・高校の数学教員を目指す人に向いています。

- 主な科目
- 行列とベクトル
  - 基礎解析学
  - 代数学
  - 幾何学
  - 確率論・統計学
  - コンピュータ
  - 数学科教育法
  - 理科学習指導論
  - 子どもと自然
  - 物理学
  - 物質化学
  - 生命環境の科学
  - 地球惑星の科学
  - 地域理科実践演習I・II

### 特徴的な学び

#### 解析学統論

高校で学んだ数列の極限や関数の連続性について厳密な定義を学びます。それにまつわる証明の方法や、関数列の極限などの新しい概念、それを踏まえた高度な計算の技術について学びます。

### 特徴的な学び

#### 地域と学ぶ 未来の理科先生 特修プログラム

小学校・中学校での理科教育を支えるため、地域にある身近な自然を活かした教材の開発手法を学び、学校や科学館等で実践する経験を通じて、子どもとともに理科の学びを創っていく資質・能力を身につけます。



## スポーツ健康科学 コース



スポーツ技術の向上と指導力を高め  
体育教員や一流のアスリート、コーチを目指す

最新のスポーツ理論と実践を通して、スポーツ技能の向上と指導力を高めるとともに、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフを送るための技能や専門知識を学ぶことができます。体育教員になりたい人、一流のアスリート、コーチを目指す人、さらにスポーツを通して地域に活力を与える仕事に就きたい人に最適なコースです。

- 主な科目
- 生理学
  - 解剖学
  - 生涯スポーツ論
  - 運動処方
  - スポーツと文化
  - スポーツ政策論
  - スポーツ運動学
  - 保健体育科教育法
  - コーチング論
  - スポーツ医学
  - 生涯スポーツ演習
  - 健康科学演習
  - スポーツ指導論
  - スポーツ実技各種

### 特徴的な学び

#### 器械運動

マット・とび箱・鉄棒運動を対象に、段階的な練習方法と補助方法について実践的に学びながら、技の習得や習熟を目指します。さらに、学生同士で教え合いながら練習に取り組むことで、それぞれの技についての理解を深めるとともに、指導を行う上で必要となる運動観察力を身につけていきます。

### 特徴的な学び

#### スポーツ企画演習

受講生が地域の課題やニーズを調査したうえで、スポーツイベントを企画し、準備から当日の運営まで行う授業です。学外の団体や地域と連携しながら準備を進めていくことで、社会で必要な実践力を身につけていきます。

在学生からの  
メッセージ

Student's  
Message



興味のあること、  
知りたいことを  
より深く

人間発達文化学類 心理学・幼児教育コース 2年 [岩手県立一関第一高等学校出身]

吉田 大悟さん

※学年は取材当時のものです。

高校の時に出会った心理学の本がきっかけで、心理学を学びたいと思いました。特に行動分析学に興味があります。興味のある分野を深く学べることや、レポートも何を書こうか悩みつづ、自分の考えを表現できることが楽しいです。福島大学には震災という課題がありますが、それに詳しい教授たちが揃っており、その課題に取り組める強みがあります。心理学でも災害が起きた後のメンタルケアなどが、自分の専門に繋がると思います。

サークルはお笑い同好会。以前から興味があり、大学選びをしている時に福大にもあることを知って入りました。コンビで漫才やコントをやっています。月1で開催される仙台でのライブやお祭りなど、舞台に立つ機会も多くなりました。勉強も趣味も、入学してから視野がぐんと広がりました。



子どもたちに  
スポーツの楽しさを  
伝えたい。

人間発達文化学類 スポーツ健康科学コース 2年 [福島県立橋高等学校出身]

佐藤 愛華さん

※学年は取材当時のものです。

小学生の時からずっとバスケットを続け、中学と高校の体育の先生を目指していたのですが、福島大学への学校推薦入試で小学校が主免許という条件があり、小中高すべての教員免許の取得を考えています。小学校では体育の好き嫌い関係なく、みんなが楽しめる授業づくりをやりたいと考えています。体を動かす楽しさが子どもたちに伝わると嬉しいです。スポ科では地域の小学生や子どもたちと関わる機会も多く、スポーツイベントを企画・運営する演習もあります。そういった授業構成や教え方を学び、体育に強い小学校教員を目指します。

大学では女子バスケット部の人数が足りず、活動できないため野球部のマネージャーをしています。南東北大学野球連盟のリーグ戦やほかにも試合が多いので、土日でもスポーツ漬けの毎日を送っています。